

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|--------------------------------|
| 事業名 | 一般廃棄物処理施設建設に係る「かんきょうサポーター」協働事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 北アルプス広域連合 (総務課施設整備推進係) |
| 事業区分 | (5) 環境保全、景観形成に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト事業 |
| 総事業費 | 750,184円 (うち支援金: 360,000円) |

事業内容

新たな一般廃棄物処理施設の整備に当たり、「かんきょうサポーター」(住民委員)から施設の外觀や付属施設のあり方などについて提言を受け、設計に反映した。

また、施設の愛称の選定や、ごみ処理広域化に向けた啓発冊子の作成などに協力をいただいた。

その他、先進施設の視察や建設予定地のシュンランの移植会を開催し、住民に理解を深めていただいた。



【サポーター会議の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①かんきょうサポーター会議を4回開催し、住民が新たな施設に望む外觀イメージや付属施設などを設計に反映することができた。また、施設の愛称を「北アルプスエコパーク」に決定し、住民に関心を持っていただいた。
- ②啓発冊子の作成にあたり、住民の目線で分かり易い内容とすることができた。14,500部作成し、全戸配布した。
- ③先進施設の視察を開催し、58名が参加した。また、建設予定地のシュンラン保護のため移植会を開催し、21名が参加した。これらを通じ、住民に新たな施設への理解を深めていただいた。

【目標・ねらい】

- ①住民意見を施設の設計などに反映
- ②ごみ減量などの啓発
- ③新たな施設に対する住民理解

※自己評価【 B 】

【理由】

新たな施設の整備に向けて、住民意見の反映や、理解を深めていただくという所期の目的を達成することができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「かんきょうサポーター会議」を継続し、新たな施設の整備に向けて、住民の意見を積極的に取り入れていく。

将来的には、住民アイディアによる周辺整備(桜の植樹、遊歩道など)やその維持管理、イベント(不用品交換会など)の開催など、住民との協働を進め、地域と調和し親しまれる施設を目指す。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある